

教会学校

5月中はお休みします。

小学科：メールでお便りをだしています。

中高科：ミニ分級お便りを送っています。

成人科：村松武司さんが「紙上成人科」便りを発信
しております。



<母の日> 5月10日(日)

5月第2日曜日は母の日として知られていますが、これはアメリカの教会で始まった行事です。アンナ・ジャービスという女性が、自分のお母さんが亡くなった後、教会学校の教師だったお母さんをいつまでも大切に思い、感謝を表すために、教会の礼拝でお母さんの好きなカーネーションを飾ったことがはじまりです。1907年のことでした。やがて1914年にアメリカで5月第2日曜日を母の日に決まり、日本にも伝えられました。

(毎年 教会学校で行なっている「母の日」の礼拝を今年はすることができませんが、覚えていて下さい。)

****今週の聖書通読日課 ****

11(月)	エゼキエル	41~42	章
12(火)	エゼキエル	43~44	章
13(水)	エゼキエル	45~46	章
14(木)	エゼキエル	47~48	章
15(金)	ダニエル	1	章
16(土)	ダニエル	2	章
17(日)	ダニエル	3	章

次週(5/17)礼拝 予告

朝・夕の教会での礼拝は中止しますが、週報を郵送あるいは教会ホームページで配信しますので、各自、ご家庭で礼拝をお守り下さい。同時に「家庭礼拝オンラインサポート」を行ないます。

説教 「命を献げるために」 竹田伸一牧師

聖書 マルコ 10章 35~45節

招詞 詩編 46篇 2~6節

交読 交読詩編 46編 2~12

讃美 510, 377, 29

司式 渡部 寛 } 「家庭礼拝
奏楽 田鎖夕衣子 } オンラインサポート」

「家庭礼拝について」

新型コロナ感染症拡大予防のため、役員会では会堂で一堂に会しての礼拝を休止しています。その試練の期間はそれぞれのご家庭で主日の同じ時間に家庭礼拝を献げることで神さまを賛美しましょう。

先週は礼拝、諸集会が中止のため、報告はありません。

日本キリスト教団

ひばりが丘教会

週報

2020年5月10日

No. 2877

***** 定期集会 *****

主日礼拝 日曜日 10:30~11:45

夕拝 日曜日 19:00~20:00

教会学校 日曜日 9:00~10:00

祈祷会 木曜日 19:30

その他 週報「集会案内」をご覧ください



牧師：柳下明子

188-0001 西東京市谷戸町 3-3-5

☎042-422-3732 FAX 042-425-4758

メール:hibarigaoka-kyoukai@k9.dion.ne.jp

HP:https://hibari-hills2017.jimdo.com/

郵便振替口座番号 00160-7-193668

本日の教会での礼拝を中止します。

各自、週報プログラムによってご自宅で心を合わせて、家庭礼拝をお守りしましょう。

(家庭礼拝オンラインサポートを10:30から行なっております。)

主 日 礼 拝

2020年5月10日

復活後第5主日

司式：原田潤一

奏楽：田鎖夕衣子

前 奏

黙 禱

招きの言葉 詩編33編20～22

主の祈り 讃美歌 93-5A *一同

交 読 交読詩編 106編1～5

讃 美 521番「とらえたまえ、われらを」 *一同

聖書朗読 ヨハネによる福音書 15章18～27節

(新約199頁)

祈 禱 (右をご覧ください) 司式者

使徒信条 讃美歌 93-4A

説 教 『世に憎まれても』 柳下明子牧師

(右側にある説教要旨をお読み下さい)

讃 美 528番「あなたの道を」 *一同

献 金 (ご家庭でも献身をお覚えください)

頌 栄 29番「天のみ民も」 *一同

黙 禱

後 奏

【本日の説教要旨】

「世に憎まれても」 柳下明子牧師

弟子たちに主イエスが残す言葉は、リーダーとして従ってゆけばいいはずの存在を失い、困難のなか、何を信じて歩めばいいのかわからなくなった時の指針となるべきものです。

ここでは、主イエスは「世」に対してどのように向かえばいいのかを伝えます。そもそも「世」は「あなたがた」を「憎む」ものとされています。その憎しみは「わたし」(イエス)に向けられたものが発端であり、さらにはその源には「父」なる神がある(23節)のです。

神に従うもの、主イエスに従うものは必然的に、「世」の憎むものである、と聖書は言います。「憎む」とは、どのような感情かと言えば、それはただ評価しないということの意味するわけではなく、もっと積極的に悪感情を持って対応することです。憎しみが生まれるのは、その根源に相手を否定したいと言う感情があるからです。

主イエスを「世」が憎むとすれば、それは主イエスが示したいのちのあり方が、「世」のあり方を脅かすものであり、「世」はそれを否定しなくては、自分が否定されるという恐れをいだいたからです。

主イエスが示したのは、食卓から排除されるものに居場所があること、就いている仕事や、患っている病が原因で人を社会から排除することは誤っていること、貧しいものが満たされるときがくること…などということを教えました。そして、それらの教えを受けつつなお、それでも正しい人間関係を作れないでいるわたしたちの罪は、その現実を持ったままで神の前に立つことを許されている、ということをもまたその十字架により伝えました。イエスに従うものが持っているのはこれらの全てです。それこそが「世」が恐れ、憎むものなのです。

何を信じて歩めばいいのかわからないとき、わたしたちにははっきりした指針が与えられています。感謝して歩みましょう。

【お知らせ／報告】

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが未だたたず、「緊急事態宣言」の期限が延期されることになりました。

* 5月中の教会での朝・夕礼拝を中止します。

*5月中の諸集会を中止します。
(主日祈り会、早朝祈り会、木曜日祈禱会
讃美歌の会、メディカルカフェ)

*週報の発送/ホームページによる配信を続けます。

*「家庭礼拝サポート」としてオンライン礼拝を可能な範囲で継続します。

*献金について

- ・席上献金は家庭でもお覚えください。
- ・月定献金・記念献金・教会学校賛助献金・教会外献金などは教会での礼拝が再開した時、纏めてお献げ下さい。

*柳下明子牧師から教会員にお便りを先週お送りしました。

【司式者の祈り】

原田潤一

天の父なる神様、今朝もあなたを礼拝し賛美を献げる恵みのときを感謝いたします。新型コロナの影響で私達の世の中は大きな試練の中にあります。医療分野はもとより、経済分野においても、かつて経験したことのない困難に直面し、先の見えない不安の毎日を過ごしています。このような苦しみのときにこそ、主が私達と共に歩んでくださっていることを忘れることがありませんように。信仰にしっかり踏みとどまり、あなたが私達を完全な者とし、強め、力づけ、揺らぐことがないようにして下さいますように。

主の御名によってお祈りします。アーメン